

## ハンガリー事前キャンプの実施報告について

### 1 要 旨

東京 2020 オリンピック競技大会時に実施したハンガリー柔道協会及びフェンシング連盟の事前キャンプについては、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）対策に万全を期した上で実施した。

選手は多数のメダルを獲得するとともに、練習見学や事後交流を実施した。引き続き、「トップアスリートのまち・北区」の発信を一層推進していくため、同国両競技団体とのスポーツを通じた交流を検討していく。

### 2 現 況（経過等）

区では、ハンガリー両競技団体受入に向けて、選手等の入国手続きの支援、区内滞在時の環境整備を進めるとともに、保健所や地域医療機関と連携した感染症対策の準備を行ってきた。一方で、北区ハンガリー応援団を結成し、オンライン交流会やメッセージ交換等の交流を行ってきた。

東京 2020 オリンピック競技大会時には、区民との接触を避けるための環境（バブル方式）により事前キャンプを支援し、競技終了後には、選手と区民との対面による交流を実施した。

なお、ハンガリー選手等及び北区関係者ともに、感染者はいなかった。

### 3 事業内容

#### （１）受 入

- ①期 間：令和 3 年 7 月 1 6 日（金）～ 8 月 2 日（月）  
※選手村滞在期間と事後交流期間を含む。
- ②人 数：フェンシング 3 0 名（うち選手 1 3 名）  
柔道 1 1 名（うち選手 6 名）
- ③宿泊施設：区内宿泊施設及び選手村  
※柔道は入国後、直接選手村へ入村。
- ④練習会場：赤羽体育館 1 階（フェンシング）  
滝野川体育館 地下 1 階（柔道）  
※赤羽体育館はフロアの一部貸し切り。  
※選手村滞在期間中も利用。
- ⑤移 動：専用車両（貸切バス）

⑥受入責任者：北区

※選手村滞在期間中の受入責任者は東京 2020  
組織委員会。

⑦主な成績

○シラギ・アーロン選手 /

フェンシング男子サーブル個人（金メダル）＝写真左上＝

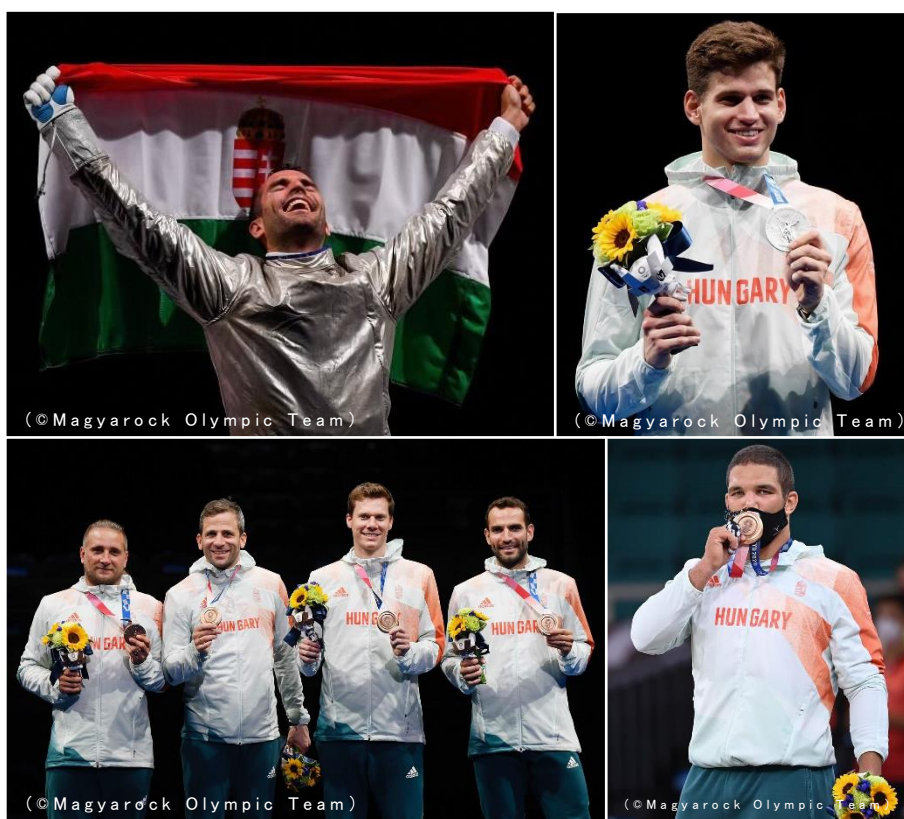
○シクローシ・ゲルゲユ選手 /

フェンシング男子エペ個人（銀メダル）＝写真右上＝

○フェンシング男子サーブル団体（銅メダル）＝写真左下＝

○トート・クリスティアン選手 /

柔道男子 90 キロ級（銅メダル）＝写真右下＝



（２）交 流

①北区内滞在時（選手村入村前）

○練習見学 ※非対面

○千羽鶴、応援メッセージの寄せ書き（国旗）の贈呈

②北区内滞在時（競技終了後）

○北区×ハンガリー フェンシング交流会

日 時：令和３年７月３１日（土） １５時３０分～

会 場：志茂子ども交流館

参加者：４１名（ハンガリー４名、北区３７名）

内 容：メダル披露、文化交流（盆踊り、ヨーヨー釣り等）  
プレゼント交換 等

○ハンガリー選手団 東京 2020 オリンピック報告会

日 時：令和3年8月1日（日） 18時30分～

会 場：北とぴあ 飛鳥ホール

参加者：52名（ハンガリー15名、北区37名）

内 容：挨拶、選手紹介、大会報告、記念品贈呈 等

4 選手等への感染症対策

- ・日本への出発前96時間以内に検査を別々の日に2回受検し（2回のうち1回は72時間以内）、入国時に陰性証明書を提出。入国時にも受検。
- ・全ての国内行程を組織委員会に登録。
- ・選手等の健康状態や位置情報、他者との接触状況をデジタルツールを活用して把握。
- ・専用車両による移動。
- ・区内宿泊施設ではフロア単位の貸し切り、一人一部屋。
- ・練習会場は施設の一部貸し切り。
- ・区内滞在時（入村前）に毎日のスクリーニング検査（唾液による抗原定量検査）を実施。
- ・感染者等発生時に備えた受診医療機関と保健所との事前調整。
- ・区が作成する感染防止対策を含む「受入マニュアル」の遵守。

5 今後の予定

国際大会等におけるハンガリー両競技団体の選手等の来日機会を捉え、スポーツを通じた交流により「トップアスリートのまち・北区」及び区の魅力の発信を一層推進していく。

## 区内滞在時の写真

<< 競技前 >>

### ■ フェンシング



### ■ 柔道



※体育館ロビーにモニターを設置して練習見学。



<<競技終了後>>

■北区×ハンガリー フェンシング交流会



(和太鼓披露)



(手作り神輿披露)



(盆踊り)



(金メダル・銅メダル披露)

## ■ 手形取り (アスリート手形モニュメント用)



## ■ ハンガリー選手団 東京 2020 オリンピック報告会

